

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた専門学校生への支援状況等に関する調査

- ◆ 調査対象 : 全国の国公立専門学校
- ◆ 調査期間 : 令和2年11月2日～(12月2日時点:回答率79.0%)
- ◆ 調査趣旨 : 各専門学校における経済的に困難な生徒に対する支援状況や退学者・休学者の状況等について調査

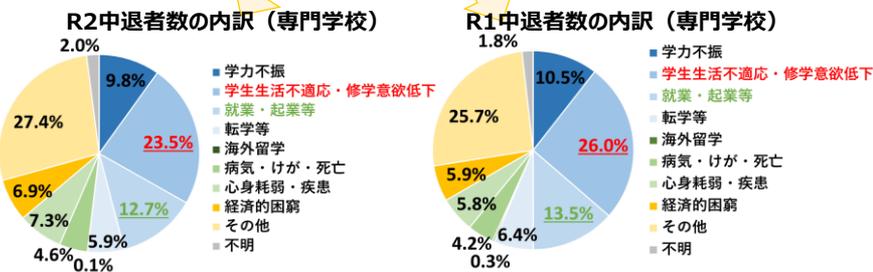
- 10月末時点で、**全体の94.0%の専門学校において、後期分の授業料の納付猶予を実施**(授業料の未納者がいない場合も含む)。
- 専門学校の生徒総数に占める後期授業料の納付猶予者数の割合は、5.92%(昨年度4.50%)であり、**より多くの生徒に対して、猶予制度や、個別の対応を行っている**ことがうかがえる。

中途退学者の状況(4月～10月の状況を比較)

- 生徒数に占める4月～10月の中途退学者数の割合は、令和元年度に比べて令和2年度の方が少ない。**
- 令和2年度について、中退の最も中心的な理由は、**学生生活不適応・修学意欲低下(23.5%)**、**就業・起業等(12.7%)**など。いずれも、令和元年度と比べ、概ね同様の傾向である。

専門学校	全体		学科1年生のみ	
	R2 (4月～10月)	R1 (4月～10月)	R2 (4月～10月)	R1 (4月～10月)
中途退学者数	11,072人 (1,148人)	14,705人	6,888人 (377人)	9,436人
生徒数に占める 中途退学者数の割合	2.22% (0.23%)	2.99%	3.03% (0.31%)	4.19%

※()内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合

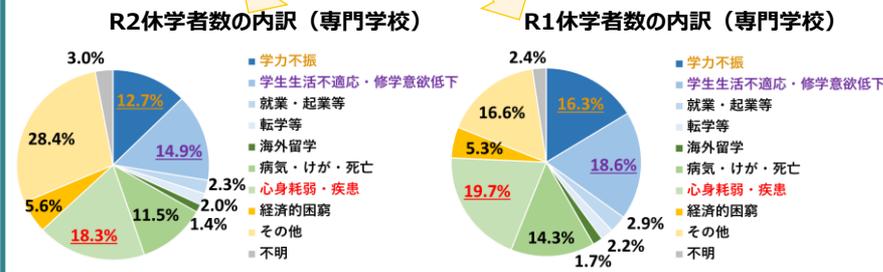


休学者の状況(4月～10月の状況を比較)

- 生徒数に占める4月～10月の休学者数の割合は、令和2年度と令和元年度で、大きな変化は無い。**
- 令和2年度について、休学の最も中心的な理由は、**心神耗弱・疾患(18.3%)**、**学生生活不適応・修学意欲低下(14.9%)**など。いずれも、令和元年度と比べ、概ね同様の傾向である。

専門学校	全体		学科1年生のみ	
	R2 (4月～10月)	R1 (4月～10月)	R2 (4月～10月)	R1 (4月～10月)
休学者数	5,313人 (981人)	4,718人	2,335人 (420人)	1,939人
生徒数に占める 休学者数の割合	1.06% (0.20%)	0.96%	1.03% (0.18%)	0.86%

※()内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合



新型コロナウイルス感染症の影響を受けた専門学校生への支援状況等に関する調査②

1. 各専門学校における経済的に困難な生徒を支援するための学校独自の支援措置

- 経済的に困難な生徒を支援するため、**全体の46.0%の専門学校において、授業料の納付猶予・分納・減免以外に、学校独自の支援措置**を行っている。
- 専門学校独自の支援措置の内容としては、**給付措置（14.6%）、貸与措置（13.0%）、物品支援（27.8%）**と様々。

（具体的な支援内容の例）

●給付措置

- ✓ 一律又は経済的に困難な生徒を対象に現金を給付
- ✓ 一人暮らしの生徒等を対象にした家賃や交通費の補助
- ✓ 日本学生支援機構や市町村の助成も活用した、クオカードや生協食堂の食事券、プリペイドカードなどの給付

- ✓ オンライン授業受講費として、通信費や印刷代の給付

●貸与措置

- ✓ 学校独自の奨学金の対象者や金額の拡充
- ✓ 無利子による貸付や、提携ローン等での利子を負担

●物品措置

- ✓ パソコンやWi-Fiルーター等の通信機器の無償貸与
- ✓ マスクやフェイスガード、除菌スプレーの配布
- ✓ 食品や学校内で使える食券の提供

●その他

- ✓ 学校内や提携施設等でのアルバイトの斡旋
- ✓ 学生寮の減額や、光熱費や食費などの一部無償化
- ✓ 実習費の減額や免除

2. 各専門学校における退学を防ぐための工夫について

- 各専門学校において、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、**学生生活不適応や、心身耗弱、経済定期困窮等による退学を防ぐために、様々な工夫**を行っている。

（具体的な支援内容の例）

●学校内の組織体制の整備

- ✓ 教員間での情報共有の強化
- ✓ 留学生を対象とした相談体制の強化
- ✓ 通学による授業を再開しつつ、個別にオンライン授業等で対応

●生徒に身近な立場からのきめ細かな対応

- ✓ 学生相談窓口による相談体制の整備
- ✓ 担任や複数教員による個別面談の随時実施
- ✓ 外国人スタッフによる他国語での相談対応の実施
- ✓ 留学生を対象としたアルバイトの斡旋

●オンライン等の活用

- ✓ メールやSNS、Web会議システム等による相談対応
- ✓ オンラインによる定期的な個別面談の実施
- ✓ 授業支援として確認テストや解説動画などの作成及び活用

●専門家との連携

- ✓ スクールカウンセラー等によるカウンセリングの実施
- ✓ カウンセリングの回数を増やす、ストレスチェックの実施

●その他

- ✓ 保護者等への個別相談会や三者面談の実施
- ✓ 学校状況や方針案内等について保護者向け文書の配布
- ✓ 他国を含む感染情報等の共有
- ✓ 感染症対策を徹底した学校行事や体育館の開放イベント
- ✓ 試験や検定の前に無料補講の実施

- （参考）「学生の“学びの支援”緊急パッケージ」について、**62.4%**の専門学校が、生徒の退学や休学の防止の支援として、「大変効果的」又は「一定程度効果的」であったと回答。